



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成28年8月10日

上場会社名 株式会社エイチワン 上場取引所 東  
 コード番号 5989 URL <http://www.h1-co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長執行役員（氏名）金田 敦  
 問合せ先責任者（役職名）取締役専務執行役員管理本部長（氏名）太田 清文（TEL）048-643-0010  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	43,654	△8.4	2,345	73.8	1,893	87.1	1,715	154.3	1,410	117.7	△3,748	—
28年3月期第1四半期	47,663	—	1,349	—	1,012	—	674	—	647	—	1,147	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	49.67	—
28年3月期第1四半期	22.82	—

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	162,136	54,512	46,137	28.5	1,625.02
28年3月期	173,978	58,740	49,831	28.6	1,755.15

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	85,000	—	2,500	—	2,100	—	1,500	—	52.83
通期	178,000	△11.1	4,500	△25.8	3,700	△15.5	2,600	9.1	91.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	28,392,830株	28年3月期	28,392,830株
29年3月期1Q	1,183株	28年3月期	1,183株
29年3月期1Q	28,391,647株	28年3月期1Q	28,391,654株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 .....	4
3. 要約四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、前連結会計年度より国際財務報告基準(以下、「IFRS」)を適用しており、前年同四半期の数値もIFRSに組み替えて記載しております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、米国では景気の拡大が続き、日本も景気が底堅く推移しました。中国経済は足踏み状況が続き、タイでは景気回復の鈍い状態が続いております。為替相場は、期間を通じて乱高下を繰り返しながら、英国が国民投票で欧州連合(EU)離脱を決定した後は、一段と円高が進みました。

自動車業界においては、北米や中国では新車販売が好調で、タイでもやや回復した一方で、日本の自動車需要は低調で新車販売は前年同四半期を下回りました。

以上の環境下、当社グループは、第4次中期事業計画の経営方針である「全世界の競合他社を凌駕する競争力と技術力で、お客様ニーズに最大限お応えする」に沿って、これまでに培ってきた技術力やグローバル展開を活かし、取引先開拓をはじめとする受注拡大に努めてまいりました。

そのような中での当第1四半期連結累計期間の経営成績は、当社グループの自動車フレームの生産台数は前年同四半期に比べて約10%増加したものの為替相場の円高による為替換算上の影響もあり、売上収益は436億54百万円(前年同四半期比8.4%減)となりました。利益面は、前年同四半期に比べて、日本では生産コストを低減、北米では人件費が増加した一方で付加価値が改善、中国では生産台数増加の効果などがあり、また、アジア・大洋州ではインドネシア子会社の損益が改善し、売上総利益は56億40百万円(同26.4%増)となりました。前年同四半期には持分法適用会社の事業譲渡に伴う収益をその他の収益に計上したため、その他の損益は前年同四半期に比べ悪化したものの販売費及び一般管理費が減少し、営業利益は23億45百万円(同73.8%増)となり、為替差損により金融費用が前年同四半期に比べ増加した一方、持分法による投資利益が増加し、税引前四半期利益は18億93百万円(同87.1%増)となりました。税金費用の減少もあり親会社の所有者に帰属する四半期利益は14億10百万円(同117.7%増)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

#### ①日本

主力得意先向けの自動車フレームの生産量は前年同四半期に比べて増加した一方で、金型取引が減少したことから売上収益は98億51百万円(前年同四半期比9.1%減)となりました。利益面では、生産コストを低減する一方で、為替差損の計上や前年同四半期には持分法適用会社の事業譲渡に伴う収益をその他の収益に計上していたことから税引前四半期利益は5億33百万円(同26.7%減)となりました。

#### ②欧州・北米

主力得意先向けの自動車フレームの生産が前年同四半期に比べて増加した一方で、為替換算上の影響があり売上収益は207億89百万円(前年同四半期比12.5%減)となりました。利益面では、人件費が増加した一方で付加価値の改善や持分法による投資利益が増加したことから税引前四半期利益は10億32百万円(同49.4%増)となりました。

#### ③中国

主力得意先向けの自動車フレームの生産が前年同四半期に比べて増加した一方で、為替換算上の影響があり売上収益は85億62百万円(前年同四半期比1.3%減)となりました。利益面では生産台数増加などから税引前四半期利益は7億15百万円(同77.0%増)となりました。

#### ④アジア・大洋州

主力得意先向けの自動車フレームの生産は前年同四半期とほぼ水準の中、それ以外の顧客向け生産が増加した一方で、為替換算上の影響があり、売上収益は67億94百万円(前年同四半期比7.7%減)となりました。利益面では、インドネシア子会社の損益改善もあり税引前四半期損失は1億70百万円(前年同四半期は税引前四半期損失2億33百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における連結財政状態は、資産合計が1,621億36百万円(前連結会計年度末比118億41百万円減)となりました。これは主に、営業債権及びその他の債権の減少、有形固定資産の減少によるものであります。

負債合計は、1,076億24百万円(同76億14百万円減)となりました。これは主に、借入金の減少によるものであります。

資本合計は、545億12百万円(同42億27百万円減)となりました。これは主に、為替市場の円高によってその他の資本の構成要素のマイナスが増加したことによるものであります。自己資本比率は28.5%(同0.1ポイントのマイナス)となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、税引前四半期利益、減価償却費及び償却費、短期借入金の純増額や長期借入れによる収入等の資金の増加がありましたが、棚卸資産の増加、有形固定資産の取得による支出、長期借入金の返済による支出等によって39億29百万円(前年同四半期比22億83百万円減)となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ52億36百万円(65.1%)減少の28億6百万円となりました。

これは、税引前四半期純利益が増加した一方で減価償却費及び償却費が減少、棚卸資産が増加したこと等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、前年同四半期に比べ26億46百万円(49.8%)減少の26億64百万円となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、前年同四半期に比べ13億52百万円(84.2%)減少の2億54百万円となりました。

これは、短期借入金の純増減額の増加や長期借入れによる収入の減少があった一方で長期借入金の返済による支出の増加等や配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間に関しましては、中国での生産増加、日本及び中国での生産コスト低減、北米での付加価値の改善などにより業績が想定を上回って推移していることから、以下のとおり業績予想を修正いたします。通期につきましても、第2四半期連結累計期間の業績予想数値を踏まえるとともに市場動向その他の外部環境を勘案し、以下のとおり業績予想を修正いたします。

平成29年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する 四半期利益 (百万円)	基本的1株当たり 四半期利益 (円)
前回発表予想 (A)	85,000	1,600	1,100	300	10.57
今回修正予想 (B)	85,000	2,500	2,100	1,500	52.83
増減額 (B-A)	—	900	1,000	1,200	—
増減率 (%)	—	56.3	90.9	400.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

平成29年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	178,000	3,900	3,000	1,400	49.31
今回修正予想 (B)	178,000	4,500	3,700	2,600	91.58
増減額 (B-A)	—	600	700	1,200	—
増減率 (%)	—	15.4	23.3	85.7	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	200,224	6,067	4,377	2,383	83.96

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,269	3,929
営業債権及びその他の債権	29,976	27,438
棚卸資産	23,063	24,813
その他の金融資産	3,200	2,668
その他の流動資産	4,259	3,548
小計	64,768	62,398
売却目的で保有する非流動資産	164	—
流動資産合計	64,933	62,398
非流動資産		
有形固定資産	94,772	86,509
無形資産	207	179
投資不動産	3,217	3,220
持分法で会計処理されている投資	2,092	2,307
その他の金融資産	6,438	5,388
繰延税金資産	1,659	1,552
その他の非流動資産	658	579
非流動資産合計	109,045	99,737
資産合計	173,978	162,136

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務	25,387	23,553
借入金	24,944	25,210
未払法人所得税等	785	381
その他の金融負債	4,043	3,946
その他の流動負債	8,314	7,414
流動負債合計	63,474	60,506
非流動負債		
借入金	41,614	37,531
退職給付に係る負債	6,556	6,051
その他の金融負債	2,378	2,447
繰延税金負債	671	740
その他の非流動負債	541	347
非流動負債合計	51,763	47,117
負債合計	115,238	107,624
資本		
資本金	4,366	4,366
資本剰余金	13,253	13,253
利益剰余金	33,030	34,130
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	△818	△5,613
親会社の所有者に帰属する 持分合計	49,831	46,137
非支配持分	8,908	8,375
資本合計	58,740	54,512
負債及び資本合計	173,978	162,136

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上収益	47,663	43,654
売上原価	△43,200	△38,013
売上総利益	4,462	5,640
販売費及び一般管理費	△3,655	△3,371
その他の収益	583	177
その他の費用	△41	△101
営業利益	1,349	2,345
金融収益	45	62
金融費用	△512	△750
持分法による投資利益	129	236
税引前四半期利益	1,012	1,893
法人所得税費用	△337	△177
四半期利益	674	1,715
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	647	1,410
非支配持分	26	305
四半期利益	674	1,715
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	22.82	49.67

要約四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期利益	674	1,715
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目：		
確定給付制度の再測定	△320	140
資本性金融商品の公正価値測定	85	△445
項目合計	△234	△304
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	872	△4,829
持分法によるその他の包括利益	△165	△329
項目合計	706	△5,159
税引後その他の包括利益	472	△5,464
四半期包括利益合計	1,147	△3,748
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	976	△3,382
非支配持分	170	△365
四半期包括利益合計	1,147	△3,748

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素			合計
					確定給付制 度の再測定	資本性金融 商品の公正 価値測定	在外営業活 動体の換算 差額	
期首残高	4,366	13,473	31,131	△0	△1,362	1,348	5,900	5,885
四半期利益	—	—	647	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△201	85	444	329
四半期包括利益合計	—	—	647	—	△201	85	444	329
配当金	—	—	△312	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金へ振替	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△312	—	—	—	—	—
四半期末残高	4,366	13,473	31,467	△0	△1,563	1,433	6,344	6,214

(単位:百万円)

	親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
期首残高	54,856	8,700	63,557
四半期利益	647	26	674
その他の包括利益	329	143	472
四半期包括利益合計	976	170	1,147
配当金	△312	△338	△650
その他の資本の構成要素 から利益剰余金へ振替	—	—	—
所有者との取引額合計	△312	△338	△650
四半期末残高	55,521	8,532	64,053

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素			合計
					確定給付制 度の再測定	資本性金融 商品の公正 価値測定	在外営業活 動体の換算 差額	
期首残高	4,366	13,253	33,030	△0	△1,780	569	391	△818
四半期利益	—	—	1,410	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△6	△445	△4,340	△4,792
四半期包括利益合計	—	—	1,410	—	△6	△445	△4,340	△4,792
配当金	—	—	△312	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金へ振替	—	—	1	—	—	△1	—	△1
所有者との取引額合計	—	—	△310	—	—	△1	—	△1
四半期末残高	4,366	13,253	34,130	△0	△1,786	122	△3,948	△5,613

(単位:百万円)

	親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
期首残高	49,831	8,908	58,740
四半期利益	1,410	305	1,715
その他の包括利益	△4,792	△671	△5,464
四半期包括利益合計	△3,382	△365	△3,748
配当金	△312	△167	△479
その他の資本の構成要素 から利益剰余金へ振替	—	—	—
所有者との取引額合計	△312	△167	△479
四半期末残高	46,137	8,375	54,512

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,012	1,893
減価償却費及び償却費	3,609	3,501
金融収益	△45	△62
金融費用	475	368
持分法による投資損益(△は益)	△129	△236
有形固定資産売却損益(△は益)	△6	△111
有形固定資産廃棄損	34	97
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	1,895	110
棚卸資産の増減(△は増加)	△697	△3,324
営業債務の増減(△は減少)	1,248	△25
退職後給付に係る負債の増減(△は減少)	124	△218
その他	752	1,489
小計	8,272	3,480
利息の受取額	18	17
配当金の受取額	27	45
利息の支払額	△473	△367
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	198	△369
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,043	2,806
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,877	△3,006
有形固定資産の売却による収入	49	345
無形資産の取得による支出	△46	△0
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△371	—
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	924	—
その他の金融資産の取得による支出	△2	△2
その他の金融資産の売却による収入	—	2
その他	13	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,310	△2,664
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,359	2,074
長期借入れによる収入	5,675	2,157
長期借入金の返済による支出	△2,274	△4,173
配当金の支払額	△312	△312
非支配持分への配当金の支払額	△336	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,606	△254
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△227
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,117	△339
現金及び現金同等物の期首残高	5,096	4,269
現金及び現金同等物の期末残高	6,213	3,929

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	日本	欧州・北米	中国	アジア・大洋州	合計		
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	7,963	23,698	8,653	7,347	47,663	—	47,663
セグメント間の内部売上収益	2,869	72	23	15	2,981	△2,981	—
計	10,833	23,771	8,676	7,363	50,644	△2,981	47,663
セグメント利益又は損失(△) (税引前四半期利益(△は損失))	728	691	404	△233	1,590	△578	1,012

- (注) 1. セグメント間の内部売上収益は、独立企業間価格に基づいております  
 2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益消去額であります。また、セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。  
 3. セグメント利益は、税引前四半期利益であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	日本	欧州・北米	中国	アジア・大洋州	合計		
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	8,128	20,555	8,416	6,553	43,654	—	43,654
セグメント間の内部売上収益	1,722	234	145	240	2,344	△2,344	—
計	9,851	20,789	8,562	6,794	45,998	△2,344	43,654
セグメント利益又は損失(△) (税引前四半期利益(△は損失))	533	1,032	715	△170	2,111	△217	1,893

- (注) 1. セグメント間の内部売上収益は、独立企業間価格に基づいております  
 2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益消去額であります。また、セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。  
 3. セグメント利益は、税引前四半期利益であります。